

日高の野菜・花き生育情報



新冠町・新ひだか町・浦河町・様似町・えりも町
《9月中旬～10月上旬》


令和4年9月15日発行
第3号
日高農業改良普及センター本所
Tel：0146-42-1489
Fax：0146-42-2521

【作物共通】


- ①外気温が徐々に低下し、夜間の気温も下がってくるため、夜温が確保できる時間帯に換気窓を閉めましょう。それに伴い、ハウス内の湿度が高まり、病害の発生しやすい状態になるため、日中の換気はこまめに行い、過湿状態の緩和を図りましょう。
- ②使用済みのセイヨウオオマルハナバチの巣箱は、最終処分を確実にいきましょう。
- ③台風や暴風雨が予報された時は、防風網の点検、ハウスの修理、被覆資材の修復、バンドの締め直し、支柱や筋交いの補強、ハウス周辺の排水溝を掘り下げるなどハウスの防災環境を整えておきましょう。また、台風や暴風雨が通過後もこれらを点検し、整備しましょう。
- ④大雨等により滞水が発生した圃場は、速やかに排水対策を行きましょう。

【野菜】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
ピーマン 無加温半促成 品種：みおぎ	<ul style="list-style-type: none">・生育は概ね順調ですが、一部では花落ちや果実肥大が緩慢なほ場がみられます。・作業は主枝18～20節目の収穫、整枝が行われています。・夜温が下がってきているため、ハウス側窓の開閉は適切に行いましょう。・草姿や果実肥大のすすみを確認し、かん水は適宜行いましょう。	<ul style="list-style-type: none">・ハダニ類、チョウ目幼虫、灰色かび病、がく枯れなどの発生が見られます。一部では斑点病も確認されているため、ほ場の発生状況を確認しましょう。  <p>【斑点病】</p>
ミニトマト 7月定植 品種：キャロル10	<ul style="list-style-type: none">・生育は概ね順調で、主枝第6花房開花期です。一部では、8月の日照不足と多雨の影響で主枝3～4果房に結実不良が見られます。・作業は、摘花、摘芽、摘心作業が行われています。また、主枝第1果房の収穫中です。・昼夜の温度差が出る時期です。病害の発生を助長させないため、換気を行きましょう。	<ul style="list-style-type: none">・灰色かび病、斑点病、一部では葉かび病の発生が確認されています。観察と防除に努めて下さい。  <p>【灰色かび病】</p>

<p>いちご 夏秋どり (高設栽培) 品種：すずあかね</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生育は概ね順調ですが、7～8月の寡照により、果実はやや小玉傾向です。 • 作業は収穫、摘葉、摘果、ランナーの除去、収穫後の果房除去などが行われています。 • 過度な摘葉は草勢を弱め、花房の出現や着色が遅れるので注意しましょう。 • 着果数が多い場合は給液濃度を上げ、少ない場合は給液濃度を下げましょう。 • 給液 EC の目安：0.7～0.75mS/cm 	<ul style="list-style-type: none"> • ハダニ類の発生が散見され、一部ほ場で灰色かび病、アザミウマ類が見られます。  <p>【灰色かび病】</p>
---	---	--

【花 き】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
<p>デルフィニウム ハウス作型</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生育は概ね順調です。 • 作業は順次、定植～採花が行われています。 • 採花終了後に土壌消毒を実施する際、気温に応じた処理期間はもちろんですが、土壌水分が適正であることが重要です。 「土を握ったときに塊ができる位」の水分状態を目標にしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一部で灰色かび病、うどんこ病、ハダニ類、チョウ目幼虫などの発生が見られます  <p>【チョウ目幼虫】</p>

★農薬を使用する場合は、必ず使用基準を守りましょう★